

こんにちは。2年6組文系チームです。今号のSSHだよりは、久武正馬と濱綸太郎と中山麻由が担当します。今、蕪崎高校は多方面での活躍が見られますが、SSHとしてもさまざまな活動を行なっています。今回取り上げるテーマは・・・

## 「峡北地域科学研修」と「関西科学研修」です！

まずは、峡北地域科学研修についてです

8月19日(月)、峡北地域科学研修が実施され、3年生のスカラー受講者と希望者50名が参加しました。

研修場所は、東京大学宇宙線研究所附属神岡宇宙素粒子研究施設。スーパーカミオカンデ(SK)とKAGRAを見学してきました。

スーパーカミオカンデとKAGRAには、(株)ミラプロの技術が利用されています。スーパーカミオカンデは2015年に大村博士と共にノーベル物理学賞を受賞した梶田博士が使用していた研究施設です。KAGRAは、アインシュタインが人類に残した課題である「重力波の観測」を目指して建設が進められている研究施設です。



次に、関西科学研修についてです。

7月24日(水)～26日(金)に「SSH関西科学研修」が行われました。2年5・6組(普通科・文理科理系)の希望者25名が参加しました。今回の研修場所とテーマは以下の5つです。

- ①京都大学医学部：京を用いた創薬・開発の最先端を知る。
- ②理化学研究所：計算科学研究センターにおいて「京」を見学する。
- ③理化学研究所：高輝度光科学研究センターにおいてSpring-8・SACLAを見学する。
- ④理化学研究所：生体機能科学研究センターにおいて生命の研究開発の最先端に触れる。
- ⑤名古屋大学理学部：SPRING-8を用いたナノ空間の実験結果の解析方法について知る。

研修に参加した2年6組中山夢希さん、中島渉太さん、板山優汰さんに感想を聞きました。

### 中山夢希さん

私はこの関西科学研修で大きく成長することができたと思う。今回の研修では最先端の研究について専門の先生から講義や見学を通して学習をし、充実した時間を過ごすことができた。また、サイエンスミーティングなどを通して、頭で考えるだけでなく、それを行動に移すことの大切さを学ぶことができた。これはこの研修期間だけでなく、これからの生活にも言えることだと思う。自分が考えたことに自信を持って取り組んでいくことがとても大切なことだと感じた。そのことに気づかせてくれたのがこの関西科学研修だった。また、自分の将来について考えるととてもよい機会となり、私にとってこの科学研修は最高のものとなった。

---

### 中島渉太さん

私は7月24日～26日の3日間、とても充実した時間を過ごすことができた。現在行われている研究にて使う施設を実際に見るだけでなく、行われている研究そのものについても詳しく知ることができて、とても貴重な経験となった。中でも印象に残っているのは、つい先日稼働が終了したスーパーコンピュータ「京」だ。京の存在自体は研修に行く前から知っていたのだが、一目見たときは大きな感動に包まれた。稼働終了直前に見ることができて本当によかった。そして、後継機である「富岳」に期待したい。その他にも、SSHでなければできない経験ができたことを嬉しく思う。

---

### 板山優汰さん

3日間にわたって行われた関西研修、著名な大学の先生による講義や研究所の見学など、普段触れない世界を沢山知ることができた。京都大学一理化学研究所（スパコン京）での講義ではAIによるビッグデータの解析、仕事の効率化について学び、名古屋大学一SPring-8・SACLAでの講義では、原子レベルの小さな世界での物質の解析などを学んだ。今まで見るができなかった世界が技術の進歩により見えるようになるのはすごいと思った。しかし、新たな世界に踏み込める半面、課題も見えてくるようだ。ビッグデータ解析では京の性能不足や経年劣化で京を超える性能のスパコン（富岳）が必要とされたり、原子レベルでの物質の解析では未開の分野であるため実用化ができていなかったりなど、多くの課題があった。AI、SPring-8、スパコン京、どれも何に使われているのか研修前は知らなかったが、すべて人間の生活を豊かにすることを目的としていたため、もっと研究が活発になってほしい。

---

文責 中山麻由・濱綸太郎・久武正馬

